

令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業（ウクライナ復興支援・中東欧諸国等連携強化）

事業名	ウクライナ・ポーランド共和国・リトアニア共和国/「IT × バイオ技術でつなぐグローバルサウス経済回廊～ウクライナ高度IT人材に着目し復興に挑む創薬支援技術サービスの展開～」FS実証事業		
企業名	株式会社COGNANO	企業規模	中小企業・中小企業以外
事業形態	FS実証事業 / 実証事業		
事業分野	①情報通信 / ②エネルギー / ③交通 / ④都市基盤 / ⑤医療 / ⑥介護ヘルスケア / ⑦農業・食品 / ⑧廃棄物処理 / ⑨デジタル・プラットフォーム / ⑩その他		
事業規模	事業費総額：375百万円 / 補助対象経費総額：360百万円 / 補助金申請額：240百万円		

事業概要

【商業化時のビジネスモデル】

ステークホルダー サービス/モノの流れ カネの流れ
その他(技術連携等)

日本 ウクライナ・東欧 先進国(顧客)

利用者 先進国製薬企業

提供者・設備 COGNANO社(補助申請者) UAB NaturalAntibody KPI, リヴィウIT クラスタ等, その他 PVR

事業パートナー Deloitte社

【目的】

- 日本発の IT×バイオ技術 が、復興を目指すウクライナで 人的・技術的・制度的に事業化可能かを検証する。具体的には、バイオバンク（UAB）によるサンプル品質評価、KPI、リヴィウITクラスターと連携したAIアルゴリズム開発チームの立上げ、NaturalAntibody社・PVR社による世界水準の納品体制整備、さらにJETROキウ事務所・Deloitte社による法制度適合の確認を行う。これにより、ウクライナの理系人材育成と産業復興を支援し、グローバル市場に通用する新産業基盤を構築する。

【実施内容・方法】

- 以下のパートナーと協業しビジネス性を検証する。① 6名の ウクライナ人エンジニアを雇用 ② バイオバンク（UAB） Dr. Gramatiukとプロダクトの妥当性検証 ③ NaturalAntibody社と共同でプロダクトの改変 ④ KPI、リヴィウITクラスターなどと協力し世界 AI 創薬コンペを実施 ⑤ PVR社と共同開発し世界市場への新たなチャンネルを開拓。多国間・法人間の公正な取引と契約については、関係各所と調整し、必要に応じて、森濱田松本法律事務所に依頼する。

【主な技術・サービス】

- COGNANOは独自のバイオマーカー探索法「IBMET®」を基盤技術とし、疾患特異的な標的を高精度に同定する創薬支援プラットフォームを提供する。AI解析と実験データを統合し、疾患標的の構造を可視化。東大・京大・阪大・欧米大学・国際コンソーシアムが先進技術支援を行う。これにより初期創薬ステップの成功確率を大幅に高めるとともに、IT×バイオの融合による新たなグローバル創薬モデルを実現する。

【スケジュール】

- 交付決定日～3年間を想定

IT x バイオでつなぐグローバルサウス経済回廊

経済産業省 外務省 JETRO

CogNano

IT バイオ 復興助成 経産省 IT CRO 投資 市場 承認

2022-現在 FS: 2026 2027-2028

ウクライナ復興への貢献

【目標】

- 30年来、ウクライナが育んできた高度な理数系人材を活用して、日本から導入する先進バイオ技術と融合させることにより、同国をグローバルサウスにおけるヘルスケア産業のセンターに押し上げる。当社がウクライナ・東欧に構築したネットワークを軸として、日本発 IT × バイオ技術のビジネスモデルを成長させる。日本・東欧・最終市場（EU・米英）を結ぶグローバルサウス経済回廊の構築を目指す。本申請は、施設や物質に依存しない知的産業復興を通じて、持続的成長と自立を支援し、ウクライナ復興に新たな選択肢と希望をもたらす。